

令和6年度

三田市

予算編成に関する要望書

日本維新の会 三田

林 政徳

福本 愛

令和6年度

三田市予算編成に関する要望書

日本維新の会 三田
林 政徳 福本 愛

3年余りに及ぶコロナ禍は市内経済や市民の生活に大きな混乱をもたらしました。

田村市長が誕生し、これから少子化対策や行財政改革をはじめ山積した問題に対して新しい風を吹かせて一層の改革を期待しています。

今般、新型コロナウイルス感染症が2類から5類に引き下げられたことなど市の負担も大きく改善しています。直近では成長に向けた投資を行う環境が整ってきています。

維新の会が掲げている身を切る改革は自らの報酬を削減することが目的ではありません。まずは政治家が率先して自らを律することで範を示し、それにより行政の無駄を削減し、生み出した財源で成長への投資を行っていくという行財政改革を断行していくことこそが真の身を切る改革の目的であります。

田村市長の所信表明の中で、元気を取り戻すことを目標に掲げこれからどのような少子化対策、子育て世代への応援等を実行されるのか、三田市における改革のスタートがきられたと感じています。

無駄の削減と新たな成長への投資が田村市政における重要ポイントと考えており、経済成長率や実質賃金ともに伸び悩み急速に少子高齢化が進行する三田市の閉塞感を打破していくための重要な要素であると考えます。

上記の社会情勢に考慮した令和6年度における会派の予算編成及び施策を要望いたします。

1. 健康福祉の充実に向けて

- (1) 医師の働き方改革への対応
- (2) 医療AIの利用による医療格差をなくす医療支援対策
- (3) 医療DXによる患者連携の推進と医療費削減
- (4) コメディカルの活躍推進
- (5) 医療・介護・福祉の連携施策の推進
- (6) 障害者が仕事を選べる環境作り
- (7) 介護予防支援

- (8) 引きこもり、自殺防止対策
- (9) 障害者スポーツの広報戦略
- (10) コロナ政策や措置の見直し等の速やかな情報提供
- (11) 新型コロナ感染症後遺症に苦しむ患者への支援
- (12) 育児短時間勤務制度の拡充

2. SDGsの取り組みについて

- (1) 市内へのSDGs取り組みへの支援強化
- (2) SDGsに対する市民理解の促進に向けた周知啓発
- (3) フードロス削減
- (4) パークマネジメントの推進

3. 地域活性化に対する取り組みについて

- (1) 外国人就労の積極活用
- (2) 大阪・関西万博効果に対する広域観光の推進
- (3) 市街化調整区域での規制緩和による商業の醸成
- (4) コロナ収束後のインバウンド戦略とツーリズムの推進
- (5) 中小企業の経営支援

4. 人口減少対策

- (1) 男性の育休取得
- (2) 空き家対策
- (3) 雇用の促進
- (4) 関係人口の増加

5. 教育の充実について

- (1) 35人学級に伴い増員される教員の質の向上
- (2) インクルーシブ教育の実現
- (3) いじめ防止
- (4) 教職員の働き方改革の強化